

# おれんじニュース

No305

2015年8月号



早池峰山の小田越えへの下りで顔を見せた薬師岳 6月29日

今月の記事	県連行事紹介、平和登山、被爆遺稿巡り、平和行進、元気が出る集会、いつだって花盛り in 金泉寺、西穂縦走日程、あたらしいなかま、クリーンハイク、久住山、みちのく女一人旅
-------	--

	2015年8月	2015年9月	時間	場所
運営委員会	11日(火)	8日(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	26日(水)	23日(水)	19:00~21:00	

久住に登る。南登山道をあるく。まずは赤川登山口へ



野イチゴを食べて小休止



ここが七曲がりデス。フ～



猪鹿狼寺跡です。狼いたの？



山つつじに心癒されて。



こんな沢もへっちゃら。



朝早いのでここらでお昼ご飯



帰りはいつも駆け足で下りる  
K氏。まってくれ～・・・

# 2015 / 8月の山行



部	技術研修部	山行部	ひまわり山行部	自然保護部
月/日(曜)	8/1(土)	8/8(土)	8/21(金)	8/30(日)
山名(行事)	五家原～経ヶ岳	宝満山	雪の浦つがね落しの滝と県民の森	金毘羅岳・不動山
地 図	多良岳	太宰府	神浦	長崎西南/東南部
集合場所	西諫早駅 7:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 7:00	JR 西諫早 9:00
難 易 度	健脚	初級、	初級	初級
帰着時間	18:00	19:00	17:00	17:00
歩行時間	7.0h	4.0h	3.0h	4.5h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカーor マイクロ	マイカー
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	無し	有り	無し	無し
参加費	1,000円	5,000円	3,000円	1,500円
申込期限	随時	8/1(土)	8/11(火)	8/23
集 約	佐原	高森	林	山口
備 考	黒木～横峰越～五家原～中岳～西岳～中山越～平谷越～経ヶ岳～黒木。 エスケープ: 金泉～西ノ越～黒木	宝満山の奥深さを伝える溪を辿り、安心の尾根を下る。	県民の森ではオリエンテーリングで地図と磁石の勉強も行う。	木陰の山道歩き。旧長崎街道では向井去来の句碑や西の箱根と言われた日見峠の日本初の有料道路がみられるかも
感想文提出	8/8	8/15	8/28	9/7

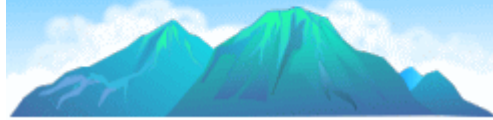
## 技術研修部だより

7月25日(土)	沢渡渉のレスキュー	西諫早駅	8:00
8月22日(土)	セルフレスキュー	西諫早駅	9:30
9月26日(土)	〃	〃	〃

## 8月29日(土)～9月2日(水) 北ア奥穂～ジャンダルム～西穂縦走(申込は8/10迄)

- 8/29 8:19 発名鉄夜行バス～名古屋まで
- 8/30 名古屋～松本～上高地～横尾山荘(泊)
- 8/31 横尾山荘～涸沢～穂高岳山荘(泊)
- 9/1 穂高岳山荘～西穂高山荘(泊)
- 9/2 西穂高山荘～新穂高ロープウェイ～飛騨高山～名古屋～諫早

## 2015 / 9月の山行



部	ひまわり山行部	技術研修部	自然保護部	山行部
月/日(曜)	9/11(金)	9/20(日)	9/22(火・祝)	9/27(日)
山名(行事)	大花山・二合半・ 鳥甲岳	木山内岳 (1401.2m)	高見山・女岳そこから 鬼木の棚田へ	石谷山・九千部山
地 図	多良岳	木浦鉱山	彼杵・嬉野	中原
集合場所	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 5:20 西諫早駅 5:30	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	初級	中級健脚、	初級	初級
帰着時間	16:00	21:00	17:00	17:00
歩行時間	5.0h	5.5h	3.0h	6h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	有り(希望者)	無し	無し	有
参加費	1,000円	5,000円	1,000円	4,000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集 約	林	佐原	山口	高森
備 考	シャクナゲの里から歩きます。多良山系の中で一番諫早に近い山並みのようです。	暑い時は滝に行こう。まず、観音の滝へとりつきます。そこからは沢を渡って高度を上げて行きます。	鬼木の案山子祭りに時期をあわせています。どんな案山子が見られるのでしょうか？	御手水の滝から石谷山を経由し九千部山まで往復します。自然林に囲まれた心安らく縦走路、涼しい風に癒されます。
感想文提出	9/21	9/30	10/2	10/7

### 県連行事関係

8/2(日)	沢登り(ウナギレ沢)小川内左俣 9時集合
8/1~8/6(土~木)	平和大行進(8/1~8/6)5P にコース詳細
9/12~13(土日)	全国ハイキングリーダー学校・元気がでる集会(5P に詳細)
10/25(日)	「いつだって花盛り in・・・」 6P に詳細
11/15(日)	岩登り
11/7~17(土~火)	ネパールトレッキング

申込は事務局(鎗水)または県連理事(中須賀)まで。

## 2015年 国民平和大行進長崎県コース（広島から長崎へ）

月日	8/1(土)	8/2(日)	8/3(月)	8/4(火)	8/5(水)	8/6(木)
	三川内陶器 組合前出発 12:00	新谷バス停 前出発 10:20	東彼杵役場 前出発 9:20	9:00 大村市役所出発 9:20 10:05 岩松駅 10:15 発 11:00 鈴田峠昼食 11:45 発 12:20 バイパス高架下 12:30 発 13:20 諫早駅前 13:30 発 14:00 高城公園 14:15 発 15:25 西諫早駅前 解散	9:30 西諫早駅 9:50 発 11:10 多良見支所（昼食） 12:30 発 13:20 陸運支局前 13:40 発 14:35 ドラッグストアコ スモス 15:40 日見公園	9:40 日見公園 10:00 発       16:20 爆心地 到着
	ハウステン ボス駅前 15:20	東彼杵役場 前 15:00	大村市役所 16:00			

### 8月1日（土）平和登山&被爆遺構碑巡りの案内

8月9日、長崎が被爆して、70年目の節目を迎えます。平和な時代でこそ登山が出来るという事を念頭に置き今年も「被爆遺構碑巡り」と「平和登山」をおこないます。

日時：8月1日土曜日 9時半

集合場所：浦上駅前

持参品：弁当、水筒、雨具、帽子、登山コースには適した服装で。

コース：被爆遺構碑巡り・・・浦上駅前～山王神社～医学部旧正門門柱～慰霊塔(グビロヶ丘)～如己堂～山里小学校～原爆資料館・・・(12時頃解散)

：平和登山・・・浦上駅前～一の鳥居～医学部旧正門門柱～穴弘法寺～金比羅山～砲台跡～金比羅神社～金比羅山頂～浦上天主堂横～原子爆弾落下中心地・・・(3時頃解散)

参加申込は7月28日までに県連平和担当理事中須賀さんまで

### 第14回元気の出る集会 in 鹿児島

今年は鹿児島県鹿屋の「大隅くん、自然の家」で開かれます。下記の要領です。

参加費：3,000円 マイクロバス利用 10,000円(15人参加で試算) (西諫早駅 6:40 発です)

日程 9/12 14:00：開会式

分科会 ①古墳の話 ②登山と気象・観天望気 ③山の歌④花と自然保護

9/13 ①クライミングボード&救助技術向上訓練 ②御岳山行 ③妻岳山行  
④横岳山行 ⑤沢登り ⑥佐多岬散策

申込は事務局(鎗水)または県連理事(中須賀)まで。

参加申込の締めきり 1次8月11日まで 2次8月22日

## 「いつだって花盛り in 多良岳・金泉寺・・・」

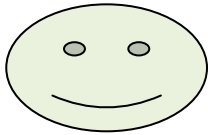
10月25日(日) 多良岳の金泉寺に女性登山者が集います。お昼に恒例の鍋を囲みます。登山は中岳コースと多良岳コースです。皆さまの参加をおまちします。

日時：10月25日 9:30 (多良岳・金泉寺) 雨天中止 15:00 解散

参加費：500円

申込は高森まで

# あたらしいなかま！



小熊 義人さん 大村市在住

基本の習得を目的で入会しました。宮崎県の山を希望します。



濱口 重孝さん 諫早市在住

私は長崎出身ですが、妻が諫早出身でこちらにすむようになりました。これから地元の方々とのお付き合いと、登山・ウォーキング等をやりたいと思い、このグループを知りまして参加したいとおもいました。



真崎川河口に咲いていた。「ハマボウ」7月13日。アオイ科。落葉低木。内湾や河口の塩生湿地を好む。一時、絶滅危惧種と言われた。

6月21日(日)



## 2015年6月/7月の山行

### クリーンハイク (多良岳 金泉寺)

(参加者) 福岡、川原、岩田、兵庫、中須賀、鎗水、中里、佐藤、小山、野中、佐原、下釜、田村、中野、森、林孝子、田中静、山口、宮崎、船津、丸田、濱口(一般) (22名)

(行程) 9:00 西諫早駅～9:50 修多羅の森～10:45 おたちね観音～12:20 西野越  
～12:30 金泉寺着(昼食・清掃) 13:00 中・健脚は多良岳登頂後下山  
～15:00 金泉寺登山口～16:00 西諫早駅

#### (感想)

昨秋の佐世保烏帽子岳に次いで2回目の参加。御館山歩きに時々参加するのみで、もちろん多良岳は初めての山でワクワクしながら参加しました。手入れの行き届いた杉の木立の下の山紫陽花は淡いブルーがやさしく、うっとりするようでした。途



中炭焼き跡では参加者が割れた瓶など掘り出して回収するのに感心してしまいました。山小屋も金泉寺も高い山の中に立派な建物が建っていることにもびっくりしました。大きな杉の木の下で食べた昼食はおいしかったです。午後の多良岳への登山道も険しくきつかったのですが、皆さんが楽々と登られるのにつられて登りました。金泉寺から車道へ下る道は苔むした岩が濡れていて滑りやすく、ここも大変でした。ごみも皆さんで手分けして車道まで運ばれ、山を愛する皆さんの自発的な行動に感心しました。仕事の都合で中々参加できませんが都合をつけて又参加したいと思います。お世話になりました。



(丸田 記)

7月5日(日)

### 久住山

(参加者) 川原、山下(ち)、野中、鎗水、國分、林(和)、山下、白石、松岡、田中(静) 兵庫、下釜、森、間ノ瀬、山口、佐原、林(孝)、福岡 (18名)

(行程) 西諫早 6:40—金立—日田 IC—10:00 赤川温泉 10:10～13:00 稲星分岐 13:15  
～13:35 久住山頂 13:45～14:00 稲星分岐 14:05～16:35 赤川温泉 17:10—日田 IC—山浦 SA—20:50 西諫早

#### (感想)

左腓骨骨折で6週間のギブスと2週間のサポーター装着。その後少しずつ御館山トレー

ニングはしていたが、3ヶ月半振りのマイクロバス山行でしかも長時間ということにちょっと不安も感じたが、北海道旭岳山行の可能性を試すべく思い切って参加した。

今回はいつもの九重までの高速道に変えて、日田ICから国道212号に入り瀬の本高原を目指す。松原ダムの左側を通過して杖立へと向かうが、松原ダムの水量は非常に少ない。ダムが水漏れしているとのことらしい。このダムの上流に室原知幸氏と蜂ノ巣城で世間を騒がせた有名な下釜ダムがありこれも水漏れしているような。行政の調査不足かどうかは知らないが、なんともムダなダムではないか？40年にわたり紛争を続けている川棚町の石木ダム計画も、使用されないムダなダムにならぬようにしてもらいたいものだ。

赤川温泉からの赤川コースは何度か行ったが、途中から南登山口コースに入って登るのは初めてである。殆どの方がこのコースは未経験らしい。梅雨空ではあるが雨が降らないので少しは楽しく歩ける。しかし前日までの雨で濡れているので滑らぬよう注意して登る。

途中、幹から水平にでて小枝に高さ1cmぐらいの番傘風キノコが2個並んで生えているのを発見。童話やおとぎ話にでてくる様な可愛いカップルか兄妹のように見えて、いかにもメルヘンチックである。先に行く花の生き字引Yさんや、キノコ探しの名人Sさんもどうやら見落とししたらしい。小柄の2人にとっては目線より上にあつたのでムリもないかとも思う。珍しいものを見つけることができ嬉しくちょっと誇らしい気もする。



帰りには皆さんに紹介しようと場所を頭にインプットしてまた登る。

登山口を出発してから2時間10分、正午も過ぎている。朝食を5時過ぎにとつたので



シャリバテだ。特に行動食を用意しなかった報いか？小休止を利用してオニギリを1個パクつく。オレンジは頑張りすぎる。昼食は12時前には取って疲れを少なくする方がよい。との意見もあり一考を要するかもしれない。

いつリタイヤしようかとも思ったが、旭岳メンバーに不安を抱かせてはいけなと、あまりない根性で頑張る。山頂

もガスで眺望のないのが残念だ。しかし100日余りの長いブランクのあと久住山に完登で満足感に包まれると共に旭岳山行に大きな自信になった。

帰途の車中では感想発表のあと演芸の代わりにYさんの岩手山、早池峰山の登山報告や東北大震災後の現状など、エピソード等を交えた独演会であつたが、話し上手なYさんの語り口に皆さん時を忘れて傾聴し楽しく過ごしました。Yさんありがとうございました。(なお東北紀行の詳細はおれんじニュースにも掲載されるそうです)



(兵庫 記)



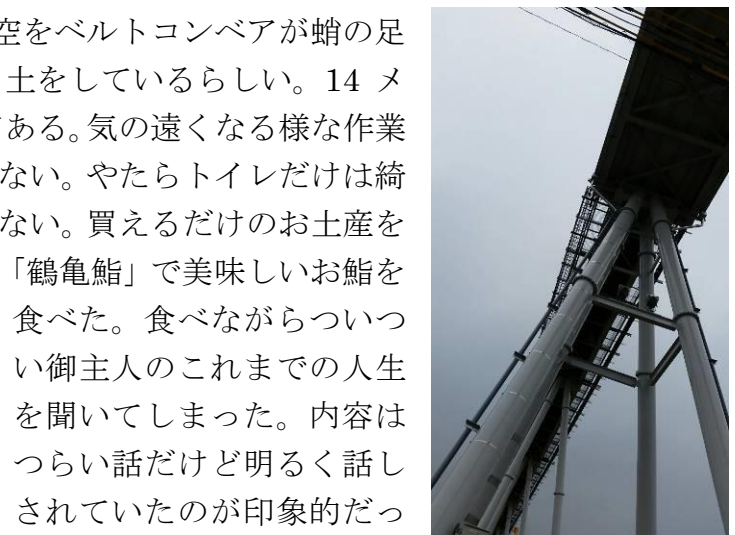
## みちのく 女 一人旅 (6/26~7/2)

東北大震災の被災地をこの目で見てみたくて(東北の山にも登りたくて)娘がいる間に盛岡に行って来た。

行く時は福岡から羽田に。そこから東北新幹線はやぶさに乗った。飛行機はシニア料金で安く乗れた。歳を重ねるのもいいもんだ。せっかくだから、岩手の山二つぐらいは登らねば……。しかし、私が九州からの記録的な豪雨を運んできた様な、さっそく岩手も梅雨入りとなった。

盛岡に着いた日は夜の繁華街を歩いたがかなり人が多い。駐車場もどこも満車。バブルの頃の長崎のよう。お店に呼び込む人も多く、風俗なども多いらしい。復興特需なのか？

次の日はやはり娘に連れられて陸前高田の一本松あたりへ。東北自動車道を走って 2.5 時間。ニュースなどの映像で見てはいたが、現実を目の当たりにすると声もでない。車のナビで見ると市役所などの市街地を走っているはずだが一面の土面又は草原になっていて、やはりという感じ。例の一本松辺りは上空をベルトコンベアが蛸の足の様に張り巡らされていて土を運び盛り土をしているらしい。14 メートルかさ上げした土地を作ると書いてある。気の遠くなる様な作業に思えた。仮設の商店は雨で観光客も少ない。やたらトイレだけは綺麗だ。当然だけど近くに人家などは全然ない。買えるだけのお土産をここで買った。陸前高田未来商店街内の「鶴亀鮓」で美味しいお鮓を



食べた。食べながらついつい御主人のこれまでの人生を聞いてしまった。内容はつらい話だけど明るく話されていたのが印象的だった。

さて降り続いた雨も 29 日(月) にやっと晴れて、花の百名山と呼ばれる早池峰山に登った。考えていた登山口は二カ所。河原坊と小田越。女性一人だし小田越に行くのが安全か？ さんざん悩んだが駐車場のある河原坊から登る事にした。出発 9 時 50 分。最初、小さい沢の徒渉あり。難無くクリア。安心していたらコメガモリ沢に沿っての登りで次から次へと 4、5 回の徒渉があった。沢から離れるとゴロタ石とハイマツの間の急登である。ここの石は蛇紋岩で滑りやすいといわれる。おまけに、登山口には浮石が多いと注意書きがあった。慎重に一步一步進んだ。



巨大な岩峰の「打石」(ぶついし) 辺りで頂上は近いはずだがコース最大の急傾斜である。天狗が霧のなか空をとんでいて巨岩にぶつかったので「打石」と言うそう。ここで一人ザックを下ろし休憩した。そこから少し行くと賑やかな声がしてあっという間に頂上に着いた。12 時 20 分。弁当を食べ始めたら一気にメールや着信があった。オレンジの仲間からのメールでいっきに元気になった。携帯のアンテナが近いらしい。頂上のゴジラみたいな岩の側で知らない人にスマホのシャッターを押

して貰った。下りは小田越を下りた。途中、長いハシゴが二つ続けてあるが、拍子抜けするほど楽でうれしくなった。岩手大学の付属中学の生徒がハイキングに来ていた。

熊よけに1トウ缶をたたきながら下りるのも初めての体験だった。お田植場のあたりはまるでお花畑。長靴をはいて屈み込んで花の写真を撮っている人がいる。植物を大事に思っている人なんだろうなと思ったら、やはりそうだった。植物に詳しい。花の名前を教えてもらいながら一緒に下山した。河原坊までがあつという間だった。小田越から河原坊の駐車場までの舗装路脇にもコケイランやミヤマオダマキ等見る事が出来た。花の百名山そのものだった。

7月1日は岩手山の山開きである。この日は岩手労山(岩手生協山の会)の平井さんのメンバー7名と一緒に登山口に行き、山開きの神事に参加した。岩手山は東北で一番高い。2039m。そして盛岡から一番近い山だった。マイカー2台に分乗し、参加費は500円。

山開きは地域挙げて大々的に開催される。滝沢市・雫石町・八幡平市の三カ所から頂上に集まってピッケル交換の儀式をするらしい。我々は滝沢市の馬返しから出発。ここでは、朝6時から30分くらいまで神主さんの神事の前に市長やら市議やら自衛隊やら色んな来賓の挨拶とかラッパ隊のファンファーレまで行われた。やっと登山開始のころは「コクッチ」と言う岩手のユルキャラまで見送ってくれた。マスコミもかなりの数来ていた。



登山口で「こくっち」に送られて



八合目避難小屋の前で

色んな企業が協賛していて幟を持って先頭を歩く団体が多い。我々も若い一人が「岩手生協」と書いた幟を持って歩いた。緩やかな登りだが行程が長く八合目の避難小屋までは旧道を歩き4時間近くかかった。途中、九州では見られない花を説明していただきカメラに収めて登った。白根葵は中腹では種になっていたが、私が残念がると頂上あたりではまだ咲いていると思うよつと言って頂き、本当に頂上近くでその花が出迎えてくれた。(´ー´)

八合目は時間調整のため、少し休憩をとったがこの水は最高においしかった。すぐそばにまだ雪渓が残っていた。ここの山小屋が、立派で気持ちばかりのチップをいれて休憩する事が出来た。トイレも綺麗で水洗である。女性用は個室が沢山あり、生理用品も自由にどうぞと置いてあった。時間調整が終わり、黒い砂土の道をお鉢に登って行った。お鉢の縁に着くと風が強くて危険なので幟を畳む様にマイクで声がかかった。たしかに上に上がると立っているのがやつのような風だった。霰交じりの雨も降ってきた。平井さんに聞くとこんな荒れた天候は初めてとのこと。また、私が異常気象をもってきたかな？少し責任を感じてきた。お鉢の周りにはコマクサが咲いていた。ピッケル交換の儀式まで時間待ちをしていたら頂上はもっと風が強くて今回の儀式は取りやめということになった。もう少しで頂上だけ危険なので下山しようとの声に内

心ホッとしたのは言うまでもない。八合目からは今度は新道を下りた。又変わった道でワクワクしたが細かい砂の道は滑りやすく何度も滑っている人がいた。私は今回、娘からムービーを持たされて頂上の景色を撮って来るように言われて山に登った。しかし、日頃使い慣れていないムービーは八合目で不具合を起こした。困って近くにいるテレビ岩手の名札を付けている人に直して貰った。それでも頂上の景色を撮る時は又雨よけのカバーがかぶったままムービーを回してしまい映像が出ないまま人の声を拾ってしまった。あーあ情けない。(p\_-)

それでも山から下りたらすぐムービーを持って NHK 岩手に行くとは何とか撮れた所を上手く繋いで「おぼんです岩手」というローカルニュース番組に放送されてしまった。

そんな事があって初めての山に初めて出会うメンバーとの登山はなかなか単純に楽しめる感じではなかったが良い思い出になった。そして岩手が大好きになった。夏が長い長崎と夏が短い岩手。坂道と狭苦しい土地の長崎人にとって広々とした岩手はとても魅力的であった。岩手の人の言葉が好きであった。「んだね。」という言葉がとってもあったかかった。出来ればもう一度訪ねたいと思う。

(山下 ちず子 記)



ウコンウツギ



シラネアオイ



コマクサ(お鉢で)



キンコウカ



ハクサンチドリ



ミヤマハンショウツル



マルバシモツケ



エソツツジ



ミヤマカラマツソウ

ここまで、岩手山の花と集合写真は岩手生協山の会代表平井氏より提供していただきました。ありがとうございました。



早池峰山の可憐な花たち



おれんじニュース 305	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正 廣
編集責任者 及び 編集委員	山下ちず子 福岡正廣、兵庫芳隆、中野美津子、山口いつ子、 林 和子、山下文代、鎗水律夫
発行年月日	2015. 7. 22
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com/">http://orangehikingclub.com/</a>

こんにちは。  
今月号は雨で中止になった山行が多く、山の感想文が 2 点しかありません。その分県連の行事の紹介を沢山掲載してあります。皆さん、ふるって参加してくださいね。岩手の記事も載せてみましたが、書きだすとながくなってしまいました。すみません。(山下ちず子)